

# 鏑木清方 三部作《築地明石町》《新富町》《浜町河岸》 重要文化財 に！

2023年3月17日から開催の「重要文化財の秘密」展で  
数多くの名作とともに公開

東京国立近代美術館（東京・竹橋）の所蔵する鏑木清方（かぶらき きよかた、1878-1972）の名作《築地明石町》（1927年）と、あわせて三部作となる《新富町》、《浜町河岸》（どちらも1930年）の全3点が重要文化財に指定されることになりました\*。

これらは清方の名声を不動のものとした記念碑的作品にもかかわらず、清方の没後、44年間公に姿を見せず、いわば「幻の名作」でしたが、2019年に東京国立近代美術館が収蔵しました。2022年の春から夏に東京と京都の国立近代美術館で開催された「没後50年 鏑木清方展」でご覧になった方も多いでしょう。

当館ではこの三部作を「東京国立近代美術館 70周年記念展 重要文化財の秘密」で公開します（展示会期は2023年3月17日-4月16日）。近代美術の数々の名作とともに、これらの新しい「重要文化財」もお楽しみください。



《浜町河岸》1930年



《築地明石町》1927年



《新富町》1930年

©Akio Nemoto 2022/JAA2200152

\* 参考) 令和4年11月18日 文化審議会答申 [https://www.bunka.go.jp/koho\\_hodo\\_oshirase/hodohappyo/93793501.html](https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/93793501.html)

【「重要文化財の秘密」展に関するお問い合わせ】

「東京国立近代美術館 70周年記念展 重要文化財の秘密」広報事務局（担当：三井）

TEL. 03-6264-2382 / E-mail. jubun2023-pr@kyodo-pr.co.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10階



## 【鑑木清方とは】

鑑木清方（かぶらき きよかた、1878-1972）は東京神田に生まれ、浮世絵系の水野年方（1866-1908）に入門し、挿絵画家として画業をスタートさせました。日本画では文展、帝展を主たる舞台とし、美人画家として上村松園（1875-1949）と並び称されました。1923（大正12）年に起きた関東大震災を契機に東京の再開発が進むなかで、清方は失われゆく明治の情景を制作のテーマに加え、多くの名作を生みました。なかでも1927（昭和2）年に帝展に発表した《築地明石町》は、審査委員たちの絶賛を受け、帝国美術院賞を受賞しました。また、1930（昭和5）年に発表した《三遊亭円朝像》は2003（平成15）年に重要文化財に指定されています。東京国立近代美術館では1999（平成11）年と2022（令和4）年に回顧展を開催しました。

## 【展覧会 開催概要】

展覧会名	東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密
会期	2023年3月17日（金）-5月14日（日） * 《築地明石町》《新富町》《浜町河岸》の展示期間は3月17日（金）-4月16日（日）
会場	東京国立近代美術館 企画展ギャラリー（東京都千代田区北の丸公園 3-1）
開館時間	午前9時30分-午後5時、金曜・土曜は午後8時まで（入館は閉館30分前まで）
休館日	月曜日（3月27日、5月1日、8日は開館）
アクセス	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口から徒歩3分
お問い合わせ	050-5541-8600（ハローダイヤル）
展覧会 公式ウェブサイト	<a href="https://jubun2023.jp/">https://jubun2023.jp/</a>
主催	東京国立近代美術館、毎日新聞社、日本経済新聞社
協賛	損害保険ジャパン、大伸社

【「重要文化財の秘密」展に関するお問い合わせ】

「東京国立近代美術館 70周年記念展 重要文化財の秘密」広報事務局（担当：三井）

TEL. 03-6264-2382 / E-mail. jubun2023-pr@kyodo-pr.co.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10階

